

第2回

全国大学発ベンチャー 北海道フォーラム

9月4日(火)～5日(水) / 札幌

同時開催 全国大学発ベンチャービジネスモデルコンテスト

大学発ベンチャーの経営力と資金調達力の向上

大学で生まれた技術やアイデアをもとに起業する大学発ベンチャー。厳しい競争を勝ち抜き、イノベティブビジネスの源泉として期待されており、これまで全国で1,500社を超える企業が設立されております。

しかし、経営力や資金などの不足から、ビジネスモデルとしての成功例はまだ少ないのが現状です。

そこで、大学発ベンチャーの経営力や資金調達力の向上を図るため、全国の第一線の関係者が議論する「第2回全国大学発ベンチャー北海道フォーラム」を開催します。

また、併せて、「全国大学発ベンチャービジネスモデルコンテスト」の表彰式も実施します。

皆様、多数のご参加をお待ちしております。



堀場 雅夫 氏 ((株)堀場製作所最高顧問)

9月4日:基調講演「ビジネスを創る!」

日時

第1日

平成19年9月4日(火)
18:00～21:00(開場17:30)
「基調講演」
「交流会&ビジネスモデルコンテスト表彰式」

第2日

平成19年9月5日(水)
9:45～12:00(開場9:15)
「オープニングスピーチ」「パネルディスカッション」

会場

札幌後楽園ホテル
札幌市中央区大通西8丁目
TEL(011)261-0111
<http://www.sapporo-korakuen.co.jp>

参加費

無料
交流会参加者のみ会費3,000円

定員

300名

対象者

大学発ベンチャー・中小企業関係者、大学教員・職員・学生、ベンチャーキャピタル・金融関係者、関係支援機関職員 など

申込方法

参加希望者は、企業名等、役職、氏名、電話番号、参加希望プログラムを明記の上、8月30日(木)までに、以下のホームページ(専用様式)又は電話にてお申込みください。

※申込みの際にご連絡いただきます情報(個人情報含む)は、お申し込みのフォーラムの運営にのみ利用させていただきます。

詳細は右記のホームページに掲載しております。

http://www.hkd.meti.go.jp/hokid/h_forum2/

主催

全国大学発ベンチャー北海道フォーラム実行委員会(委員長:北海道大学大学院経済学研究科 教授 濱田 康行)
【構成】経済産業省北海道経済産業局、読売新聞社、北海道大学

協賛

(株)さくらパートナー、(独)中小企業基盤整備機構北海道支部

後援

(予定)(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所北海道センター、(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ北海道、有限責任中間法人日本ベンチャーキャピタル協会、(財)ベンチャーエンタープライズセンター、日本新事業支援機関協議会、日本ベンチャー学会、北大R&Bパーク推進協議会、千歳科学技術大学、北海道東海大学、小樽商科大学、帯広畜産大学、札幌医科大学、室蘭工業大学、北見工業大学

申込先・問い合わせ先

経済産業省北海道経済産業局 新規事業課(担当:佐々木、高橋)
TEL(011)700-2324/2251 e-mail:hokkaido-shinki-renkei@meti.go.jp

PROGRAM

会場 札幌後楽園ホテル(B2F) ピアリッジホール

第1日 9月4日(火)

18:00~18:10 主催者挨拶

18:10~19:10 基調講演 「ビジネスを創る！」

堀場 雅夫 氏 (株)堀場製作所最高顧問

1945年、京都帝国大学在学中に起業した大学発ベンチャーの草分け的存在の堀場 雅夫 氏。「おもしろおかしく」の精神で、堀場製作所を分析機器のトップメーカーに育てた。ベンチャーは面白い。苦しい坂はあるけれども、チャレンジ精神をいかんなく発揮できれば、必ずオンリーワン、ナンバーワンになれる。「ベンチャー魂」でビジネスを創り、成長させていくことの極意を講演する。

19:20~21:00 交流会&全国大学発ベンチャービジネスモデルコンテスト表彰式

参加者による交流会を開催するとともに、同時開催の「全国大学発ベンチャービジネスモデルコンテスト」の最終審査の結果発表及び表彰式を実施。

15:30~20:00 公的支援メニュー相談コーナー(中小企業基盤整備機構北海道支部)

産学官連携ビジネス等をサポートする新連携支援制度等の公的支援メニューの相談コーナーを設置。専門家が制度紹介や相談に対応。



1945年堀場無線研究所を創業。国産初のガラス電極式pHメーターの開発に成功し、53年堀場製作所設立。78年に会長、05年に最高顧問。現在、日本新事業支援機関協議会(JANBO)会長、京都商工会議所副会頭などを務め起業家の育成にも力を注いでいる。著書に「イヤならやめろ!」(日本経済新聞社)、「仕事ができる人できない人」(三笠書房)など多数。

第2日 9月5日(水)

9:45~10:00 オープニングスピーチ

松田 修一 氏

日本ベンチャー学会会長
早稲田大学ビジネススクール・経営専門職大学院(MOT担当)教授



早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了(商学博士)。1973年に監査法人サンワ事務所(現トーマツ)入所。86年に早稲田大学アジア太平洋研究センター助教授、91年に同教授。著書に「ベンチャー企業」(日本経済新聞社)など多数。

10:00~12:00 パネルディスカッション

「大学発ベンチャーの資金調達力の向上」



座長

濱田 康行 氏
北海道大学大学院
経済学研究科教授

東北大学大学院博士課程修了(経済学博士)。中小企業論、ベンチャーキャピタル論などを研究。京都大学寄付講座教授など。



パネリスト

堀場 雅夫 氏
(株)堀場製作所
最高顧問

プロフィール別掲。



パネリスト

松田 修一 氏
日本ベンチャー学会
会長

プロフィール別掲。



パネリスト

香川 隆裕 氏
三菱UFJキャピタル(株)
常務取締役

京都大学経済学部卒。(株)三和銀行を経て、02年に(株)UFJキャピタル(現三菱UFJキャピタル(株))入社。03年から現職。



パネリスト

土内 彰 氏
(株)レーザーシステム
代表取締役社長

立石電機(株)(現オムロン)、日亜化学工業(株)を経て、04年に(株)レーザーシステムの設立に参加し、同年12月から代表取締役。

大学発ベンチャーは、経営力や資金などの不足から、ビジネスモデルとしての成功例はまだ少ない。開発した製品が事業化によって収入を得るまでの間、研究開発費や製品開発費等への資金需要が大きく、「資金調達の可否」がビジネスの成否を決める要因となる。

磨き上げたビジネスモデルでベンチャーキャピタル、エンジェル、金融機関等からいかに資金調達を図るか。第一線の大学発ベンチャー企業家、専門家が「大学発ベンチャーの資金調達力の向上」について議論する。